

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成22年2月9日 第33号
浜田市農林業支援センター

はじめに

立春とは名ばかりの寒さですが、いかがお過ごしでしょうか。いよいよ4月から戸別所得補償モデル対策がスタートしますが、情報不足で何かと不安を感じておられると思います。2月1日に出雲市で農林水産省による制度の説明会が開催されました。不確定の部分があるものの、現時点で回答できることもありますのでお問い合わせください。
(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

1. 各支援チームからの話題

新規就農支援チーム (担当: 前原・塚本)

新規就農激励会が開催されました

1月28日、(財)しまね農業振興公社が平成21年度の新規就農激励会を開催しました。

同公社は、新規就農者が個別の経営課題を解決するため、自主的な研究活動に取り組む際の経費を助成しています。今年度浜田市では小松原修さん、佐々木克晴さん、佐々木祥二さん、三浦大輔さんの4名がそれぞれの栽培作物や経営内容に応じて、試行錯誤しながら研究に取り組みました。

今回、県内の青年農業者が研究の成果を持ち寄って交流や情報交換を行うことにより、スペシャリストを目指すひとりひとりの意識が一層向上したことと思います。



認定農業者支援チーム (担当: 松井・前原)

みらいのコメが認証を取得!



島根県農林水産部長から認証書の交付を受けるみらいの川本繁美常務(左)

島根県が今年度からスタートした『安全で美味しい島根の県産品認証制度(美味しまね認証)』は、生産から出荷までのすべての管理が、安全性や品質に関する県独自の基準を満たしていることを知事が認証する制度で、旭町の認定農業者(有)サングリーン開発の「赤梨」をはじめとする農・畜・林・水産物が認証を受けています。

昨年12月に行われた審査会では、認定農業者である(有)三隅町農業支援センターみらいの「除草剤不使用きぬむすめ」が厳しい審査基準をクリアし、農産物の第10号として認証されました。

「美味しまね認証」をきっかけにして、消費者の皆さんが安全で高品質な農産物に関心を持ち、手に取ってくださることを期待します。

集落営農組織支援チーム (担当: 森井・鎌原)

ひやころう波佐の活動がビデオになりました

金城町の農事組合法人ひやころう波佐が活動事例として取り上げられた農山漁村文化協会(農文協)のビデオ「集落営農支援シリーズ 地域再生編」が全国に向けて発売されました。

『「地域貢献型」へ進化する集落営農～地域ぐるみで育む希望の拠りどころ～』と題し、農業生産のみならず、農村の生活に欠かすことのできない集落機能の維持、祭りや都市交流などに共同で取り組む様子が紹介されています。ひやころう波佐を拠りどころに、地域の絆を深めていく活動をぜひご覧ください。

当支援センターにビデオ版とDVD版がありますので、集落での話し合いなどでご活用いただければ、今後の参考になることと思います。



2. ブルーベリー生産者が初会合

1月29日に、浜田市内のブルーベリー生産者4戸による情報交換会が初めて開かれました。参加されたのは、認定農業者である佐々木克晴さん（三隅町）と阿郷建設の社長 阿郷一日さん（弥栄町）、そして小野善道さん（金城町）、西田富美雄さん（旭町）です。



関係機関の職員とともに1日かかりですべての圃場を見学し、意見交換を行ったところ、それぞれが販路開拓、収穫作業の軽減、加工品開発といった共通の課題を抱えていることが分かりました。また、全員が生産者同士の交流や連携の必要性を感じておられたため、連絡先を交換し、収穫前の5月に再度集まることになりました。



「浜田でブルーベリーが採れることと、生果の美味しさをもっとPRしたい」という一人の言葉に全員が頷き、新しい生産者グループが動き始めました。当センターではJA、県とともに効果的なバックアップができるよう、知恵を絞っていきたいと思います。

3. 「農業経営者塾」が開催されます

島根県担い手育成総合支援協議会では、担い手の経営改善能力の向上を図るため、今年度2回目となる『農業経営者塾』を開催します。

今回は、山梨県の農業生産法人（株）サラダボウルの田中進代表取締役が「農業は大きなビジネスチャンス～農業で幸せに生きる～」と題して講演されます。現在37歳の田中氏は、金融機関で企業支援の仕事に携わっていましたが、起業を決意して6年前に同社を設立。約10haの圃場で30品目の施設・露地野菜を栽培されています。また、新規就農者の支援を行う「NPO法人農業の学校」を設立したことで知られています。

参加を希望される方は 2月15日(月)までに 当支援センターにご連絡ください。〔担当：松井〕

開催日時：2月23日(火) 午後2時～4時

会場：JAいずも ラピタウエディングパレス（出雲市）

4. 「島根県集落営農推進シンポジウム」が開催されます

「今後の農政展開と集落営農による対応を考える」をテーマに、『島根県集落営農推進シンポジウム』が開催されます。（主催：島根県担い手育成総合支援協議会）

今後の農政で何が変わり、何が変わらないのかを明らかにするとともに、地域の農業・農村をこれからも守り続け、発展させていくためには何が必要か、そのヒントをつかむことを目的としています。

参加を希望される方は 2月25日(木)までに 当支援センターにご連絡ください。〔担当：森井〕

開催日時：3月16日(火) 午後1時30分～4時

会場：島根県立男女共同参画センター「あすてらす」大ホール（大田市）

編集後記

先日、出雲市で花きを生産する「平田園芸場」の勝部寿真^{としまさ}代表のお話を聴く機会がありました。印象的だったのは「手帳とカメラを持って仕事をしているか。精度の高い記録がなければ、点検も評価もできない」「圃場はきれいに保たれているか。汚い場所にきれいな花は咲かない」といった、意識や習慣についての指摘でした。これは全ての農業者、あらゆる職種の人に当てはまる教訓ではないでしょうか。

皆さんは、手帳とカメラを持ち歩いていますか？

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発行元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741（JAいわみ中央本所分館2階）

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp